

1. 1890年代後半からの資本主義の発達により、日本に労働問題や農村問題が高まる。それを受けて、1898年に研究会が設立された革新的社会思想。 1
2. **PERSON** 明治～昭和の社会主義運動家。信徒としてキリスト教博愛主義に基づく社会主義を主張。明治34(1901)年の社会民主党設立者の一人。 2
3. **PERSON** 明治～昭和の共産主義運動指導者。信徒としてキリスト教博愛主義に基づく社会主義を主張。明治30(1897)年に日本初の労働組合結成。明治34(1901)年の社会民主党設立者の一人。コミンテルン(第3インターナショナル<国際労働者協会>)に参加し、大正11(1922)年、日本共産党結成を指導。ただし、直接行動(暴力革命)を否定する議会主義派。 3
4. **PERSON** 明治の左派無政府主義的共産主義者。同郷(土佐)の中江兆民の影響が大きい。明治36(1903)年に平民社設立(機関誌『平民新聞』で日露戦争に非戦論)。片山潜の議会主義派と対立する直接行動派の中心人物に急進化し、明治44(1911)年、大逆事件で処刑。 4
5. 第一次大戦後の大正期(1910年代後半～20年代前半)に、立憲政治擁護や普通選挙運動などの政治改革を要求した運動。藩閥・軍閥政治批判。 5
6. **PERSON** 明治～昭和初期のマルクス主義経済学者・思想家。京大で講義。内村鑑三やトルストイのヒューマニズムに影響を受ける。共産党に入り投獄されるが、日本的(特に仏教的)な求道者としてのマルキスト。 6
7. **PERSON** 大正～昭和初期のクリスチャン政治学者。キリスト教人道主義の影響を受ける。民本主義を唱えて大正デモクラシーの指導的人物に。 7
8. 吉野作造が説く、西洋のデモクラシー(民主主義)を移入して、日本の内的な近代化を図る思想。天皇制(天皇主権)に配慮したものとして、民「主」の考えを避けたが、政治(主権運用)の目的を民衆の利益・幸福と唱えて大正デモクラシーの指導的理論とされた。 8
9. **PERSON** 明治～昭和初期の憲法学者。吉野作造の民本主義とともに、大正デモクラシーの指導的理論とされた天皇機関説を主張。 9
10. 美濃部達吉が説く、「統治権は国家にあり、天皇はそれを行使する手段(機関)である」として、明治憲法の天皇主権説解釈を批判した思想。国体に反するとされ、昭和10(1935)年には美濃部の著書が発禁とされる。 10
11. 大正11(1922)年に設立された、部落解放運動の全国組織。 11
12. **WORD** (全国)水平社宣言の結びの言葉。起草者は西光万吉(さいこうまんきち)で、黒地に赤い荊(いばら)の荊冠旗も彼の考案。 12
13. **PERSON** 大正・昭和の女性解放運動家。青鞞社(明治44<1911>)、新婦人協会(大正9<1920>)、市川房枝らと)を設立した「新しい女」。 13
14. **JOURNAL** 明治44(1911)年に設立された、女性文学者団体の青鞞社(与謝野晶子も)の雑誌。巻頭に「元始、女性は実に太陽であった」。表紙は高村智恵子(『智恵子抄』で知られる高村光太郎の妻)。 14
15. **PERSON** 明治の政治家。足尾銅山鉍毒事件で、反対運動の先頭に立って闘い、明治34(1901)年には天皇に直訴を試みた。 15

T. Q. 「作造の民本主義と達吉の天皇機関説の共通点とは？」

T. A.

作造は民主主義と区別して、日本の天皇制に即したデモクラシーとしての民本主義を唱えた。達吉は、日本の統治権は国家にあるとし、天皇の存在はそのための手段とする天皇機関説を唱えた。両者の共通点は、天皇を目的ではなくて手段であり、民衆を中心とする国家を理想としている点にある。